## 二〇二三年度

# 日本文学文化学科教員の活動報告

研究活動

信

岡

朝

子

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

学会活動

境学会、日本児童文学学会、エコクリティシズム研究学会、 日本比較文学会、東大比較文学会、アメリカ学会、文学・環

表象文化論学会、日本映像学会、絵本学会、生物史研究会、

大学・学部管理運営活動

点検・評価委員会委員

日本文学文化学科第一部学科長、資格審查委員会委員、自己

松 亮

高 太

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

学会活動

世京都学会、東洋大学日本文学文化学会 日本近世文学会、日本文学協会、鈴屋学会、和歌文学会、近

> 教育活動 内

古典のパロディに触れる~」(全二回)講師(二〇二三年五 東洋大学社会貢献センター公開講座「江戸時代の二次創作~

月二六日、六月二日)

H 出張講義 千葉県立松戸国際高等学校 二〇二三年一一月二

学 外

賀茂真淵記念館・記念館アカデミー「賀茂真淵の手紙を読む

Ⅱ」(全三回)講師(二○二三年七月七日、九月八日、一○

大学・学部管理運営活動

月二〇日)

日本文学文化学科第二部学科長、第二部学科長会議委員、

資

格審査委員会委員、自己点検・評価委員会委員

有 澤 晶

子

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

大学・学部管理運営活動

東洋大学日本文学文化学会会長

大学院文学研究科日本文学文化専攻専攻長

文学部外国語委員会委員

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

学会活動

上代文学会理事。國學院大學国文学会委員。東洋大学日本文

員。

会・古事記学会・古代文学会・風土記研究会・木簡学会各会 学文化学会・全国大学国語国文学会・万葉学会・美夫君志

木 研究活動 村

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

教育活動

学会活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

内

一」(八月一七日) の読み方―「イチ、ニ、サン、シ」「イチ、ニ、サン、よん」 東洋大学オンライン講座 日本の「知」二〇二三年夏季「数字

大学・学部管理運営活動 東京成徳大学深谷高等学校 出張講義 (九月二九日)

学術書コレクション構想ワーキンググループ委員

野 呂 芳 信

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

学会活動

芸術至上主義文芸学会 く(理事

日本近代文学会、言語と文芸の会会員 東洋大学日本文学文化学会(会誌・会報担当)

大学・学部管理運営活動

学科 卒業論文担当、新入生ガイダンス・卒業式担当 全学 学生生活委員会委員

研究活動 原 田 香 織

論 文

研究発表

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

Symposium Buddhist Cultural Heritage project

February 26th to 28th, 2024 University of California Santa Relationship between Noh and Buddhism

学会活動

楽劇学会・能楽学会・説話文学会・中世文学会会員

#### 教育活動

書巖の会講演「藤原定家と百人一首」二〇二三年六月二五日 於 国際文化会館

### 社会的活動

「室町のコバコ」能楽関係の番組 (ゆめのたねラジオ) 日曜

ト片山九郎右衛門師・観世淳夫師・鵜沢光師・清水寛二師 日朝六時~六時半 (二〇二三年八月~二〇二四年三月) ゲス

松田弘之師・金春憲和師・大倉正之助師他

NHK「歴史探偵 信長・秀吉・家康 天下人の趣味」秀吉の

能の解説出演 二〇二三年九月六日全国放送

# 大学・学部管理運営活動

東洋大学通信教育部部長 (通信教育部学科長兼務·社会貢献

センター運営委員兼務)。

東洋大学東洋学研究所所長。

文学部東洋伝統文化講座委員「能楽」担当。東洋大学出版会

運営委員会委員。

本 亮 介

## Щ

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

#### 学会活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

## 大学・学部管理運営活動

伝統文化プロジェクト担当、学科カリキュラム担当(委嘱 高等教育推進委員会委員、文学部入試委員会委員、東洋大学

時間割

杉 江 典 子

研究活動

研究発表

安形輝、江藤正己、杉江典子、橋詰秋子、安形麻理、大谷康 "複数の情報源を用いた日本のマンガ作品の翻訳書誌作

発表論文集』p.47-50

三年六月十日.(『2023年度日本図書館情報学会春季研究集会 成の試み"第七十回日本図書館情報学会研究大会.二〇二

その他

杉江典子."オランダのマンガと書誌データ". 図書館のマン

研究グループPICNIC.日本図書館協会、二〇二四年三月(予 ガを研究する:図書館情報学サイエンスカフェ講演録: 共同

定)、掲載ページ未定(JLA Booklet no.16

研究活動

ソーントン

武・アーサー

論 文

フーコー 0) 「生政治」を再評価する―コロナ禍におけるア

ガンベン論争をかえりみて―」単著、『思想』 (岩波書店) 二

〇二三年第五号、二〇二三年五月五日、一一九~一三五頁。

H 本比較文学会、International Comparative Literature

Association、三田文学会、東洋大学日本文学文化学会。

学会活動

#### 教育活動 内

文学部海外文化研修(イタリア)二〇二三年八月二〇日~三 日を企画・実施。ベネツィアとフィレンツェを中心に一三

## 社会的活動

名の学生の引率

ターとして、二○二四年のアメリカ大統領選挙について解説 ト・ニュース番組「ニューズ・オプエド」で、コメンテー 五月一五日、NO BORDER NEWS TOKYOのインターネッ

六月一○日、虎ノ門ヒルズビジネスタワー一五階にて、BJRF (ボストン日本人研究者交流会) 主催で「コロナ禍時代の「生

政治」―「アガンベン論争」から見る―」を講演

# 大学・学部管理運営活動

育課程委員会委員 外国語委員会委員長、グローバル化推進委員会委員、

> 高 柳 祐 子

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

## 大学・学部管理運営活動

学会活動 国語国文学会会員、東洋大学日本文学文化学会総務。 和歌文学会会員、中世文学会会員、西行学会会員、東京大学

#### 教育活動 内

東洋大学 第三七回「現代学生百人一首」審査・選考、

学びライブ(六月十八日

大学・学部管理運営活動

ム委員会委員、学科会計担当 「現代学生百人一首」選考委員会委員長、文学部カリキュラ

#### Ш 内 佑 毅

## 研究活動

、通信教

論

文

ぐって─」、『〈道〉研究論集』二○一、二二○頁、 大学人文科学研究所、二〇二三年三月 「中国書論における〈道〉の位相 ―唐代の「書道」用例をめ 大東文化

訳)、『西泠印社第七届 河井荃廬訪中及交流—以西泠印社人士為中心—」(栗躍崇 『孤山証印』学術研討会論文集』

一三四頁、西泠印社出版社、二〇二三年十一月

研究発表

西泠印社第七届『孤山証印』学術研討会、二〇二三年十一月 |河井荃廬訪中及交流─以西泠印社人士為中心─」(一○分)、

学会活動

センター、九月一三日~二〇日 全国大学書道学会会員書作展 出品、 文京区立大塚地域活動

内

教育活動

その美―」、三月三〇日 学びライブ体験授業「漢字・仮名の成り立ち―文字の発達と

円了にとって書とは何か―、六月一〇日 講義「東洋大学・井上円了研究」第八回 井上円了と書道

展示「第三回東洋大学文学部書道展」企画·運営、 井上円了

記念館、六月一五日~九月三〇日

学

外

十月一五日、文京シビックアトリエ 文化庁伝統文化親子教室「書道ってナニ?」講師(九〇分)、

学科秋季講演会・漢学会秋季大会、十月二一日 講演「篆刻文化とその魅力」(六○分)、大東文化大学中国文

出張講義「生活に活きる文字文化」(九〇分一コマ)、神奈川

県横浜市立戸塚高等学校、十月二六日 出張講義「生活に活きる文字文化」(五〇分二コマ)、埼玉県

川越市立川越高等学校、十一月一六日

社会的活動

館、三月一六日~二二日 第八五回謙慎書道会展 理事出品、 梅花賞受賞、 文京シビックギャラ 東京都美術

第三八回文京区書道連盟展 理事出品、

第三六回全日本篆刻連盟展 理事出品、セントラルミュージ リー、四月一三~一七日

アム銀座、五月一六日~二一日

第五一回「日本の書展」東京展 秀抜出品、国立新美術館、六

月一五日~二五日

第三回東洋大学文学部書道展 賛助出品、井上円了記念館、六

月一五日~九月三〇日

第三九回読売書法展東京展 幹事出品、 国立新美術館、 八月

二五日~九月三日

文京区主催秋の文化祭第四一回書道展 協賛出品、 文京シ

大墩賞受賞、台中市大墩文化中心大墩芸廊、一○月一四日~ 台湾・台中市主催第二八回大墩美展 ビックギャラリー、 一〇月六日~一四日 出品、

篆刻類第一名

十一月一日 第三三回全日本篆刻連盟役員展 出品、古河市篆刻美術館、

## ○月二四日~十二月一○日

第一○回日展、 国立新美術館、十一月三日~二六日

第六回瑤藍印社篆刻書法一門展 理事出品、 名古屋電気文化

会館、十二月一四日~一七日

# 大学・学部管理運営活動

キャリア・就職推進委員会委員、 新入生ガイダンス・卒業式

書道展担当

杉 研究活動 Щ

俊

郎

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

#### 学会活動

# 日本語学会、訓点語学会、日本語文法学会、日本方言研究会、

日本国語教育学会、日本言語学会、東洋大学日本文学文化学

大学・学部管理運営活動

文学部予算委員会委員、文学部ホームページ担当委員、学科 会計、学科教務(卒論担当)

部 徹

服 也

研究活動

東洋大学研究者情報データベースを参照のこと

学会活動

日本近代文学会 編集委員

昭和文学会

教育活動

学 内

学 外

LIVE授業体験(二〇二三年三月三〇日

講座「漱石文学の世界:漱石作品に親しむ」(二〇二三年一 早稲田大学エクステンションセンター早稲田校 オムニバス

〇月一四日)

大学・学部管理運営活動

学科教務(ゼミ希望調査) 担当、教職センター運営委員、紀

要編集

松 井 健

人

研究活動

著 書

「教養・読書・図書館」、 単著、 晃洋書房、二〇二三年八月一

〇 日

論

文

戦後教育学における反人文・反大正教養主義としての「教

養」の提唱:国民的教養論・共通教養論の整理と課題」単著、 『研究室紀要』、(四九) 、二〇二三年七月、 一六五-一七五

山滋比古の読書論・読者論―」関東教育学会 第七一回大会 「「東大・京大」の魔力 ―『思考の整理学』の宣伝工作と外

オンライン発表 題分析」教育史学会 第六七回大会 二〇二三年九月二四日、 「『日本の教育史学』における著者の出現分布と研究論文の主 二〇二三年一一月一八日、関東学院大学

オンライン発表 照—」日本教育学会 第八二回大会、二〇二三年八月二四日 「戦中戦後の阿部次郎の活動について ―大正教養主義の残

長・衛藤利夫の図書館論」東洋大学日本文学文化学会 二〇 二三年度大会、二〇二三年七月二二日、東洋大学 |図書館と人格、あるいは教養主義のキメラ 満鉄奉天図書館

筆 範囲:「ドイツ国立図書館」(五六五頁)、「シュレッティ ンガー」(五九七頁))、丸善出版、二〇二三年七月 編著『図書館情報学事典』、日本図書館情報学会編、(分担執 その他

後教育学の再検討上・下』」単著、 書評「書評 田中孝彦・田中昌弥・杉浦正幸・堀尾輝久編『戦 『研究室紀要』。(四九)、

二〇二三年七月、二三三一二三六

教育活動 内

学びLIVE体験授業(二〇二三年六月一八日)